

高知県立 高知城歴史博物館

Kochi Castle Museum of History

OHAKU NEWS

Volume
16

展示室開室スケジュール ●令和3年度の年間展示スケジュールおよび講座・催し物スケジュールは、当館のホームページにてご覧頂けます。

3F	2月	3月	4月
総合展示室1 土佐藩の歴史	第6期 ~2月23日(水祝)	3月4日(金)~	令和4年度 第1期 ~5月9日(日)
総合展示室2 大名道具と土佐の文化	特別展示 山内家のひな人形・ひな道具 2月4日(金)~	特別展示 山内家のひな人形・ひな道具 2月4日(金)~4月11日(日)	特別展示 山内家のひな人形・ひな道具 2月4日(金)~4月11日(日)
特別展示室 企画展	おいしい土佐藩 ~3月7日(日)	3月18日(金)~	開館5周年記念展 土佐のやきもの 尾戸焼 ~5月30日(日)



土佐藩主山内家墓所 特別公開

参加費無料
申込受付開始日 2月10日(木)9時~
 国史跡指定日(3月1日)を記念して、土佐藩主山内家墓所の一部を公開、職員がご案内します。
 日時/①3月5日(土)10:30~ ②3月6日(日)10:30~(1時間程度)
 定員/各回15名(先着/要申込)
 集合場所/史跡土佐藩主山内家墓所前(高知市筆山町9-8)に現地集合です。
 申込方法/お電話にてお申し込みください。
 ※雨天の場合は、3月5日分は3月12日(土)に、3月6日分は3月13日(日)に延期します。
 ※参加予定の方には延期が決まり次第、電話でお知らせします。
 ※保険に加入して頂きます。(加入費無料)
 ※長い石段を登ります。運動しやすい服装でご参加ください。
 ※集合場所に駐車場はありません。

5周年記念講座

参加費無料
申込受付開始日 2月10日(木)9時~
国絵図の世界
 ~導入展示「土佐国絵図」の楽しみ方~
 日時/3月6日(日)14:00~15:30
 講師/渡部 淳(当館館長)
 会場/当館1階ホール
 定員/40名(先着/要申込)
 申込方法/お電話にてお申し込みください。



記念プレゼント

開館5周年を記念し、さまざまなプレゼントを用意して、みなさまのご来館をお待ちしています。
 ●展示をご観覧される方へ/当日展示をご観覧の方全員に記念品をプレゼントします。
 ●ミュージアムショップをご利用される方へ/500円以上お買い上げの方に記念和菓子をプレゼントします。
 ●喫茶をご利用の方へ/500円以上のお食事をされた方に記念和菓子をプレゼントします。



ゆず林鉄expo2022

県内で唯一「日本遺産」認定を受けている中芸5町村(奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村)の森林鉄道とゆずの物語の魅力伝えるイベント「ゆず林鉄expo」が、今年も当館を会場に開催されます。

期間/令和4年2月13日(日)~20日(日)
 会場/当館1Fホール、実習室
 (当館では展示や映像上映、体験プログラム等が開催されます)
 主催・お問い合わせ/中芸のゆずと森林鉄道日本遺産協議会
 (〒781-6425高知県安芸郡安田町大字東島2017番地/電話:0887-30-1865)
 ※イベントの詳細等、お問い合わせは協議会までお願いいたします

お得な年間観覧券がオススメです

城博の展示は、年間5回の企画展に加えて総合展示室2室も約2ヵ月毎に展示替え。年間観覧券があれば入館もスムーズ。ぜひご利用ください。

年間観覧券/2,000円
※有効期間は購入日から1年間。

各種会員制度もご利用ください。

友の会 年間観覧券と様々な特典が付いた会員制度です。
年間 3,500円

情報会員 城博ニュースのほか、展示や行事・催し物などのお知らせをご自宅にお送りします。
年間 500円

友の会、情報会員の詳細はこちら

開館時間 9:00~18:00 (日曜日は8:00~18:00) ※展示室への入室は開館の30分前まで

休館日 年末 [12月26日~12月31日] ※展示室の休室スケジュールはホームページをご覧ください

観覧料

- ◆500円(400円) ※()は団体20名以上の料金
- ◆企画展開催期間中…………… 700円(560円)
- ◆年間観覧券…………… 2,000円
- ◆高知城とのセット券 ※有効期限は当日限りです
 (当館企画展開催期間中)900円 (その他の期間)740円
- ◆高校生以下は無料
※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳、被爆者健康手帳所持者と介護者(1名)は無料。
 ※高知県・高知市長寿手帳所持者は無料。

交通アクセス

- ◆お車を
 ご利用のお客さま 高知自動車道高知ICから約15分。一般来館者用の駐車場はございません。周辺の有料駐車場をご利用ください。 ※障害者用駐車場(2台)あり。
- ◆JRを
 ご利用のお客さま JR高知駅からとさでん交通路面電車(はりまや橋方面行き5分)はりまや橋下車、乗り換え(鏡川橋または朝倉、または、いの方面行き5分)、高知城前下車、徒歩3分。
- ◆飛行機を
 ご利用のお客さま 高知龍馬空港からは高知市内と空港間を結ぶ連絡バスをご利用頂けます。JR高知駅行きは「はりまや橋」で、県庁前行きは「県庁前」で下車してください。

高知県立
高知城歴史博物館
 〒780-0842 高知県高知市通手船2-7-5
 TEL.088-871-1600
 FAX.088-871-1619
 高知城博 検索

発行日/令和4年(2022)1月26日 編集・発行/高知県立高知城歴史博物館

開館5周年

令和4年3月5日(土)・6日(日)

開館5周年を記念して
 すべての方が
展示観覧料無料です。

城博の日は
 ジョイバクの日

開館5周年記念企画展

尾戸焼

おじやき

土佐のやきもの

尾戸焼とは
承応2年(1653)、土佐藩によって高知城下・尾戸(現在の高知市小津)に開かれた陶器の窯です。火災、移転、民営化など幾度も危機をのりこえ、現代まで絶えらるることなく操業が続けられています。



土佐の土、土佐の火、土佐の技。370年の命脈。

370年のあゆみ

開業当時焼物は藩外からの移入に頼っていましたが、これを国産化しようと考えた2代藩主山内忠義執政野中兼山は、大坂から陶工久野正伯を招き、国内から原材料となる土を探させ、窯を築き、森田久右衛門・山崎平内らに技術を学ぶよう命じました。やがて窯は軌道に乗る、筋向かい(現在の高知市丸の内2丁目)へ移転し、享保12年(1727)の大火に見舞われつつも茶道具・藩の禮用品などを生産が続けられました。

しかし、陶器に代わって磁器が求められる時代が訪れると、藩は肥前出身の技術者を呼び寄せ、郊外の熊茶山(現在の高知市熊野)に磁器窯を築くと共に、文政5年(1822)尾戸茶山への移転を命じました。そして明治維新。藩の保大屋生産品、次いで、品と職いつつ、新しい時代に求められる器づくりに取り組んでいます。

展示会のみどころ

藩内の茶人収集家が大切に伝えられてきた茶道具(この置物など)を知る人ぞ知る伝世品約100点を展示。多様な技法と風趣を存分にお楽しみ頂けます。また、これまで知られてきた年配入りの作品を一堂に集め、合せて出土遺物も紹介することで、さらなる尾戸焼の姿が垣間見えます。

手にとって味わう、現代の尾戸焼

会期中、当館喫茶では尾戸焼の器を兼ねる特別メニューを提供する予定です。また、ミュージアムショップでは、いつもより多くの尾戸焼作品を取り扱いますので、ぜひ尾戸焼のあたたかく醇朴で奥深いあじわいをその手でお楽しみください。

令和4年 3月18日(金)～5月30日(月) 会期中無休

主な展示資料 / 山内忠義書状(当館蔵)、尾戸煎餅出土遺物(高知市蔵)、森田久右衛門日記※(森田芳博氏寄託)、屋頂宝珠※(安宗寺蔵)、美穂兼家茶碗(個人蔵)、松竹梅染付茶碗・尻彫茶入・栗原家旧蔵品口水瓶・型物向付・雙文堂香炉(当館蔵 個人寄贈)、尾戸茶碗草稿(高知市民図書館蔵 尾文蔵) ※字・小・原・原・原(左下以外) ※高知県指定有形文化財

総合展示室 展示情報 歴史と美術、2室の総合展示で山内家資料の魅力を満喫

第5期 1月21日(金)～2月23日(水・祝) **ピックアップ** 黄羅紗地丸三柏紋付袴

享保12年2月1日に高知城を含め城下町一帯が被害を受けた享保の大火が発生しました。5期の展示では、土佐藩主が所用していた火事被害のほか、享保の大火の関連資料もご紹介しています。火の用心を考えていただける展示ですので、ぜひご覧ください。



第5期 2月4日(金)～4月11日(月) **ピックアップ** 山内家のひな人形・ひな道具

大名道具として、豪華で繊細な有職簾と金銀蒔絵の難飾りをお楽しみください。



森田久右衛門日記

逸品

古文書をはじめとした歴史資料や歴代藩主のお道具など、6万7千点の土佐藩山内家資料をはじめとした土佐藩・高知県ゆかりの収蔵品の中から、学芸員がオススメの名品や隠れた逸品をご紹介します。

森田久右衛門日記 延宝6(1678)年、4代藩主昌高は、藩の焼物師森田久右衛門を江戸に呼び寄せさせた。主な目的は、幕府要人や親戚の接待の席で作陶を披露させること。彼の日記には、職能を自在に操って容の好みに即座に応じる様子が活写されています。他にも久右衛門は各地の窯の視察、江戸市街での陶器商めぐり、武家茶人からの作品指図が課されていた様子も日記からは読み取れます。

現在最も注目されているのが、各地の窯の視察記事。その時代の窯業についての文字記録は非常に少なく、しかも陶工の視点からの証言と言ったことで、陶磁器研究に欠かせない貴重な資料となっています。新書版「土佐の小さな冊子」ですが、企画展会場でも目に留まったらこれがある有名な久右衛門日記かあ、ぜひぜひやってみてください。



オンラインによる学校への出前授業

当館では、博物館と学校教育との連携・協力を意識し、様々な博学連携事業を実施しています。その内の一に職員が学校へ向かい、教室などで児童・生徒と直接やり取りさせていただく出前授業があります。先日、初めてとなるオンラインによる出前授業を実施しました。夏休みに静岡興掛川市の興立掛川西高校の先生から、オンラインによる出前授業の要望を受けたのがきっかけです。同校が中心となり、地元高知の高知市立高知商業高校・土佐塾中学校とも連携して進めている事業の一環とのことで、ご要望の内容は、「山内一豊や高知城などに注目して、掛川と高知のゆかりつながりについて解説して欲しい」というものでした。この要望を受け、10月25日、当館としては初めてとなるオンラインによる出前授業を実施しました。初回でいきなり3校同時という緊張感もあり、上手に心が配りましたが、各校の協力のものと、何とか成ることができました。オンラインによる遠隔授業の方法は、以前から博物館の世界でもたびたび話題にあがるもので、離島や遠隔地にある学校への協力方法の一つとして注目されています。東西に長く、かつ高知市中心部から遠く離れた中山間地域に多くの学校が所在する高知県においても、この方法は有効なものと思われ、検討の必要を感じていたところ、思いがけずその機会をいただくことができました。オンラインによる遠隔授業には、時間や場所に制約されない、あるいは同時に複数の学校と交流することができるなど、様々な利点があります。直接学校へ訪問する出前授業とオンラインによる遠隔授業、双方の長所と短所を考慮しながら、学校への学習協力の形をさらに検討してみたいと思っています。



教育普及課長 横山和弘



第5回 お城下文化の日

当館が参加している「高知お城下文化施設の日(お城下ネット)」は、高知市中心部(旧城下町)の7つの文化施設でつくる団体です。歴史、文学、科学、まんがなどをテーマとした多様な施設が集うこの会では、旧城下町エリアの地域振興や観光振興を目的に、「お城下文化の日」というイベントを毎年開催しています。昨年11月21日(日)に開催した同イベントでは、各施設において、1日限定展示や歌集会、来館者プレゼントなど、それぞれの特徴を活かしたこの日だけの特別企画を行いました。当館では、城下町の歴史を紹介するまち歩き、刀や兜のレプリカに触れられる体験コーナー、くずし字の解読に挑戦できる古文書クイズなどを行い、500人以上の方に参加いただきました。また、オービディア高知図書館ではリサイクル本の無料配布、高知みらい科学館では箱カメラの撮影会が行われるなど、他施設においても様々な文化活動が展開され、会場は県内外の参加者で賑わいました。新型コロナウイルスの流行以来、当館でも講座や催し物の開催が困難な状況が続いています。その中で行われた「文化の日」では、久しぶりに多くの来館者と接することができ、文化に触れる喜びを皆さんと分かち合えたような気がしています。博物館は人々が行き交う交流の場であることを改めて実感した日となりました。



地域企画課 企画員 筒井聡史